

木更津市男女共同参画計画（第5次）策定のポイント

1 内容の大幅な見直し

第1次計画策定から20年が経過しようとしています。今回は、これまでのように前計画をそのまま踏襲するのではなく、ゼロベースで全体像を捉えながら時代の変化にも対応した計画の策定を行います。

2 市民とともに取り組む施策づくり

市民とともに取り組むという考え方を基本とし、行政だけを対象にするのではなく、市民や企業などあらゆる主体と相互に協力しながら進めていく内容とします。また、組織や部署の垣根を越えた連携関係の構築をこれまで以上に推進します。

3 施策と事業の関係性を見直し

現計画における事業数が約200事業となっており、実効性に乏しいものや内容の重複しているものが多数見られます。目標達成に寄与するものであるかどうかという観点から、施策と事業の関係性について見直しを行います。具体的には、施策の下に固定的な事業を設定するのではなく、状況の変化に対応できるように幅を持たせた事業計画を設定するイメージです。

4 コロナ禍を踏まえた新たな手法の活用

新型コロナウイルス感染症の影響により、会議やイベントの開催中止がこれまで多数見られました。しかしながら、この状況に対応した新たな手法が普及しつつあることから、書面会議やICTなどの活用も考慮に入れた施策の推進を行います。

5 無駄のないコンパクトな構成

行政の計画に関して、文章が冗長かつ難解な語句の多用により、伝えたい内容が市民にうまく伝わらない事例がよく見られます。本計画においては、中高生が読んでも理解できるようなシンプルな構成と平易な表現を心がけ、誰にとっても分かりやすい内容となるよう配慮します。

6 国・県の計画との整合性

令和2年度に策定された国の第5次計画及び県の第5次計画の内容を踏まえ、本市の計画がそれらと整合性のあるものとなるよう心がけます。具体的には、県の計画における項目に準拠し、本市の計画を策定します。

7 条例との整合性

今年度中に条例の制定を予定しています。本計画の内容と整合性を持たせることにより、本市の男女共同参画の推進を総合的・一体的な視点で行えるような基礎づくりを改めて行います。